

【エイワのプログ】 印刷のプロ、永和印刷がサービス・技術の紹介や業界事情など最新の情報を発信していきます。印刷 (Printing) のログ (Log) だからプログ (Prog)。P と R には Professional とか Product といった意味も (単に PR 誌だからという声も?)。今回の Prog では、with コロナ社会における新しい仕事様式を永和印刷ならではの形でご提案いたします。これまでとは勝手が違いたいへんど多忙かと思います。もっとお手伝いさせていただきます!!

2020年 7月 31日発行 vol.37

もっと、伝えます——永和印刷株式会社

## Topics 新しい仕事様式のご提案 with 新型コロナウイルス

緊急事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルスの感染者は増え続けています。皆様もさまざまな制約のもとでお仕事を続けられていることでしょう。テレワークやオンラインでの校正のやり取りなど、これまでと違った仕事の進め方が必要になっています。永和印刷は「新しい仕事様式 with 新型コロナウイルス」として、以下のご提案をさせていただきます。

新規案件をどんどん動かしたいのに  
手を付けられない。そんなときは…

→永和 HP : 編集部

医学・看護系の  
雑誌や書籍の  
原稿整理・校正、  
おまかせください



原稿整理は  
永和印刷におまかせ

会社でも自宅でも常にデータを  
確認して更新していきたい…

→Prog vol.35  
永和印刷流 Box 活用術



Box の活用で  
テレワークも快適

PDF で校正のやり取りをしたい  
けど、そのまま送るのではなく、  
必要事項を書きこみたい…

→特集 1

PDF をもっと使いこなす

Acrobat DC がなくても大丈夫

→特集 2

やってはいけない  
PDF の加工があります

一見便利そうですが、  
そこには罠が潜んでいる



PDF を徹底的に  
使いこなす

紙のように手書きで赤字が書けたら、  
仕事も効率的だし、スキャニングや  
プリントの手間も削減可能

→特集 3

検証!! タッチペンと  
Microsoft Edge を  
使ってみよう

文字を書くのに適したペンは?



PDF に手書きで  
赤字を書いてみる

校正ソフトでスペルチェック。  
誤字や表記ゆれもしっかり検出

→Prog vol.15

意外と見逃しがちな  
間違いもみつけて  
お客様に喜んで  
いただいています



データチェックで  
確認いたします

年末・3月末は印刷工程が「密」。  
夏場の印刷、大歓迎です!

→永和 HP : 工務部

・四六全版 2 色両面機  
・菊全版 4 色機  
でバッチリ印刷します



「密」をさけた  
夏の印刷のすすめ

# 特集 1 PDF をもっと使いこなすー

## ■ PDF、何を使って閲覧していますか？

PDF のメリットはメールなどで容易に送信でき、どんな環境でも閲覧できること。無償の Acrobat Reader DC がなくても、Google Chrome や Microsoft Edge などのブラウザでも閲覧することが可能です。まさに環境を選ばず、レイアウトやフォントなどが作成したとおりに再現できるのが強味です。

## ■ PDF をなるべく簡単に加工したい

PDF はとにかく便利なのですが、情報を伝達・共有する上では変更できないこと、加工しにくいことがデメリットに感じることもあります。しかし、ご存じの方も多いでしょうが、Acrobat DC やシェア & フリーソフトなど、加工や修正も可能なものがあります。価格や機能に一長一短があるものの複数のソフトの併用は避けたいはず。そこで今回は、テレワークの環境でも対応可能で、必要とされる機能がそろっていて、かつ無料といういいこと尽くしのオンラインツール「I LOVE PDF」をご紹介します。

## ■ I LOVE PDF の使い方、できること

I LOVE PDF の使い方はとても簡単です。まずブラウザで「I LOVE PDF」を検索 (<https://www.ilovepdf.com/ja>) しアクセスすると、図 1 のトップページが開きます。メニューの中から希望する作業を選び、加工したい PDF をドロップ。あとは画面の指示に従い「実行」し、完成 (加工) した PDF をダウンロードすれば終了です。

### メニュー一覧

- PDF 結合 ・ PDF 分割 ・ PDF 圧縮 ・ PDF から Word ・ PDF から Powerpoint
- PDF から Excel ・ Word から PDF ・ Powerpoint から PDF ・ Excel から PDF
- PDF を編集 ・ PDF JPEG 変換 ・ JPEG PDF 変換 ・ ページ番号 ・ 透かし (スタンプ)
- PDF の回転 ・ HTML から PDF ・ PDF を保護 ・ PDF を編成 ・ PDF から PDF/A
- PDF 修復

メニューは上記の通りですが、**赤文字**は PDF の内容の変更、**緑文字**は PDF 自体の加工、**青文字**は Office 系の変換、というように分類してみました。

## ❖ PDF の内容の変更

編集者にとって、PDF を加工する上で一番必要なのは「PDF を編集」の機能ではないでしょうか。こちらを使えば文書にテキストや画像、図形で注釈を追加\*することができます (図 2)。頁番号の追加やスタンプ機能もあります。 \*直接の文字修正ではありません

## ❖ PDF 自体の加工

複数の PDF を結合したり、分割したり、並び替えに対応。回転、軽量化も可能です。

## ❖ Office 系の変換

Office 系→PDF、PDF→Office 系への変換に対応。ただし、Office 系への変換は同じ状態で戻るわけではありませんのでご注意ください。

## PDF のメリット

- ①標準性…誰でもどんな環境でも閲覧可
- ②不可変…印刷と同じ状態を再現
- ③軽量…用途にあわせてサイズ調整可能
- ④安全…基本的に変更ができない
- ⑤安定…バージョンに左右されにくい

## PDF のデメリット ???

- ②不可変…紙で出すのとイメージが違う
- ③軽量…紙出力したら画質が悪かった
- ④安全…修正ができない  
テキストがうまくとれない

※実はメリットとデメリットは表裏一体です。

②③は紙出力も用意し確認するのがおススメ。

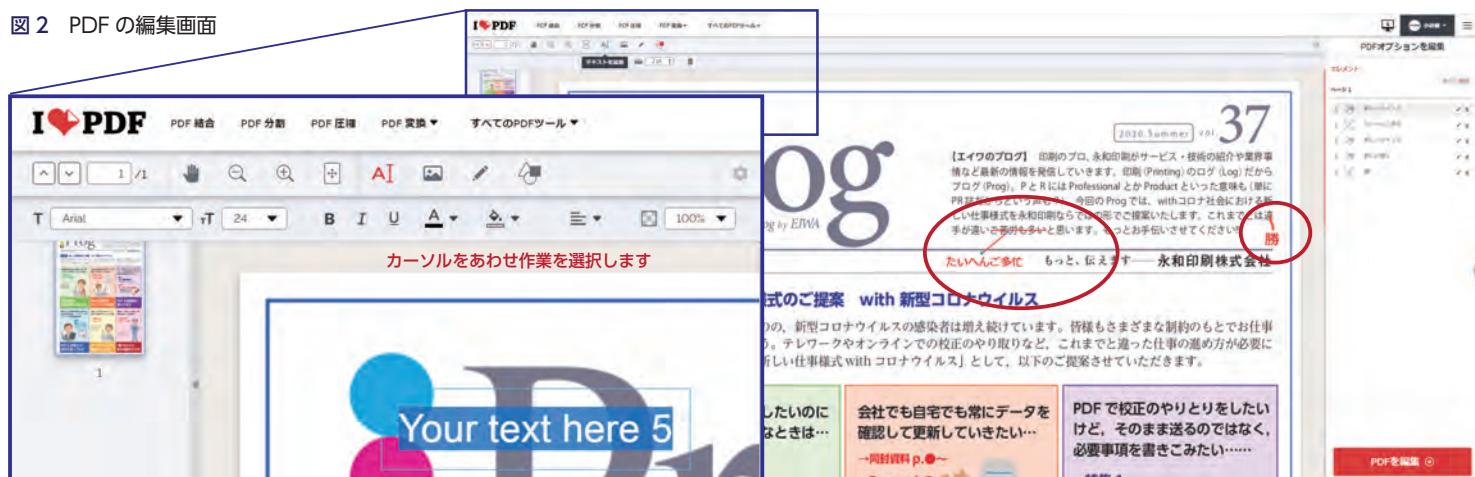
④の変更・流用に対応する便利な方法をご紹介します！

図 1 I LOVE PDF のトップページ



※ I LOVE PDF では、「サーバーにファイルがある間は安全かつ誰でもアクセスすることはできず、ファイルは最大 2 時間だけ保持し、その後サーバーから永久に完全に削除」と記載されています。また、「各変換後に自身で文書を削除することも可能で、どんな方法においてもあなたのファイルの確認、コピー、分析をしません」とされています。ご利用についてはご自身の判断と責任でお願いいたします。永和印刷では一切の責任を負いかねることをご了承ください。

図 2 PDF の編集画面





## ■ 校正記号を使いたい

オンライン校正にPDFを活用していただくために、永和印刷では校正記号のスタンプ(下記)を作成しました。

永和印刷のホームページ (<http://www.eiwa-p.com/>) からダウンロードが可能です。

Acrobat Reader なら PDF データをカスタムスタンプで登録し、スタンプの追加で貼ることができます（※登録が面倒です）。

I LOVE PDF なら「PDFを編集」の「画像の追加」を使うことで校正記号（PNGを使用）をPDFに貼りこめます。「透かし」機能は全ページ同一箇所にスタンプされてしまうため、校正記号の貼りこみには適していないのでご注意ください。



校正記号一覧

ミン

ゴチ

イタ

ボールド

ボールドイタ

スモールキャブ

ナミ

正体

立体

小

大

カナ

欧文

数字

漢数字

時計数字(I,II)

ギリシア文字( $\alpha, \beta$ )

ルビ

トル

トルアキ

ツメル

アケル

改ページ

改丁

ベタ

上ツキ

下ツキ

二分

半角

全角

四分

大見出し

中見出し

小見出し

左ソロエ

右ソロエ

センター

1ℓアキ

2ℓドリ

2ℓ中央

音引

ー(マイナス)

▽(全スラ)

∩(半スラ)

□(中黒)

⋯⋯(3点リーダー)

⋯(2点リーダー)

▢(全角スペース)

▮(全角ダッシュ)

▯(半角スペース)

ー(ハイフン二分)

- (ハイフン四分)

□□

2倍ダージン

初校

再校

三校

四校

念校

画像の色調・トリミングをご確認ください

をご確認ください

をお願いいたします

文字入力していますので、ご確認をお願いいたします

お名前・ご所属の表記をご確認ください

要再校

要三校

要念校

責了

校了

どちらかに○をつけてください

Yes or No

どちらかにチェックを入れてください (以下略)

Yes ☐

No ☐

Yes ☐

No ☐

カンマピリ「, .」使用

テンマル「, 。」使用

カンママル「, .」使用

▽

△

↪

文献につきましては、記載ルールに従い修正し、不足箇所等は PubMed・医中誌等により追加しました。

巻末に「索引」を掲載いたします。  
1項目につき 個の索引語句を○丸囲みあるいはマーカーにてご指示ください。

控え用

本ゲラ

見本組

## 特集 2 やってはいけない PDF の加工があります

非常に便利な PDF ですが、使い方を間違えると大事故につながります。実は Acrobat DC (Acrobat Reader とは別物) を使えば、PDF 自体の文字や画像も修正することができます。Adobe Creative Cloud が使える環境であれば Acrobat DC も使えるということで身近な存在になっています。それって便利？ いや、便利なようでいて、実は危険な罠が潜んでいます。それはなぜかというところ……。

④ PDF は元データではない！　そこで直して満足するべからず！！

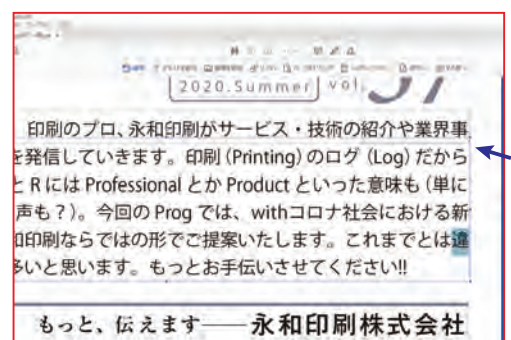
印刷会社やデザイナーでなくても Acrobat DC などでも PDF を修正できてしまいます。簡単な直しなら自分でやってしまおう。それは絶対にやめてください。オリジナルの Illustrator や InDesign のデータを直しておかないと、修正が反映されておらず、印刷したときに「あれ、直っていない!!」ということになりかねません。

④ PDF が元データ (= オリジナルがない) としても、Illustrator などでもりやり開いて直そうとしたりはするべきではない !!

ご支給されるデータがPDF のみの場合があります。フォントや効果が忠実に再現できるので、そのまま印刷に使用するのであれば問題はありますが、修正が入ったときに悩みどころ。「納期的にデザイナーに戻す時間がない、なんとか対応してよ」と言われても、基本的にはお断りさせていただきます。融通が利かないからではなく、開くべきではないからです。修正するため Illustrator などを開いた結果、文字がばらばらになったり、画像が崩れたり、効果が失われてしまうなど、非常に危険な行為です。



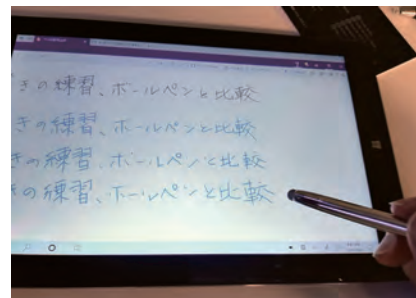
Acrobat DC で「PDF を編集」から文字等の修正は可能だが…



1 行目と 2 行目以降が分割されています。このようなバラバラ現象が Illustrator などでも起きてしまう可能性が…

## 特集3 検証!! タッチペンと Microsoft Edge を使ってみよう

Adobe Reader や I LOVE PDF などを使えば注釈機能などでの赤字入力が可能なのはこれまでご紹介してきたとおりです。とはいえ、実際にマウスとキーボードを使ってやってみるとこの作業はかなり手間がかかります。「紙に書くより倍以上の時間がかかったのでもう二度とやらない」なんて声も聞いたことが……。今回のテーマは新しい仕事様式の提案。そこで、タブレットとタッチペン、手書き機能が標準装備されている Microsoft Edge を使い、PDF への手書きに私自身で挑戦し、検証してみました。



手書き

1 充電式筆圧感知型

2 ディスクタイプ

3 シリコンゴムタイプ

手書きの練習、ボールペンと比較

手書きの練習、ボールペンと比較

手書きの練習、ボールペンと比較

手書きの練習、ボールペンと比較

今回使用したタッチペン

手書きの練習、ボールペンと比較

0.5mm の水性ボールペンで紙に文字を記入しスキャニングした PDF を Microsoft Edge で開き、充電式筆圧感知型、ディスクタイプ、シリコンゴムタイプの3種類のタッチペンで同じように書いてみました。

- ①充電式筆圧感知型……タブレットに付属のペン先の細いタイプ。紙に書く感触とは異なるものの、手書きと同じような感覚で書くことができます。種類・価格帯も豊富なので自分に合うものが見つけられれば使えそう。
- ②ディスクタイプ……ペン先に透明な円盤状のディスクがついているタイプ。ペンはなるべく傾けず、垂直にしたほうが書きやすい。ディスクは透明なものの、ペンの先端はみえづらいのが文字を書くには難点。
- ③シリコンゴムタイプ……意外と手書きに近い感触で、細くも書けるものの、ゴムの接触部によっては感知されないことがあり、途切れてしまう（「ル」の一部が消えている）。書きはじめての位置が把握しにくい。

**総評**……書くこと自体は、慣れていけばより速く正確にきれいに書けるようになる手ごたえは得られました。問題点は、手書きよりも大きめに書く必要がある（小さくは書きにくい）ため、画面を拡大する必要があること。タブレットの場合、画面自体が小さいため、表示の位置を変えながらの作業になり全体をみながら作業できないことが不満でした（個人の感想です）。タッチペン初心者のせいかもしれませんが、今後の成長(?)は永和印刷のブログで報告していきます。

### 担当者はこんな人



久永 康彦

危機こそ個人でも企業でも日頃の姿勢や元々の能力が問われるときであり、旧弊を是正する好機と言われます。背筋を正したくなるお話ですが、それを実行するのは究極にはヒトですので、駆り立てるものが必要です。一人称ではない何かの、誰かの存在を起動力にして働くことによって、変革・継続できると思います。ましてその危機が厄災によるものであればなおさらその存在がありがたいわけで…『永和さんももっと工夫してゲラを出して。本も発行しますから』はい、ありがとうございます！今号もご参考になれば幸いです。



小材 健

今日の東京の感染者数は〇人で、そのうち夜の街関連が〇人。毎日目にするこのニュース、もしコロナのない世界だったら……東京オリンピックが開催され、私たちが世界中の人々も、連日、競技会場やテレビで観戦して熱狂していたはずなのに、とんだ「カンセン」違いです（涙）。新しい生活様式に取り組みなくてはならないのは重々承知していますが、これまで大事にしていたものも残していける社会でもあってほしい。日本の各地ではお祭りで神輿をかついだり、山車をひいたり、コロナ以前はそんな風習がありました……なんて世界にはなりませんように。



### 編集後記

新しい生活様式と簡単にいいますが、これまでのやり方を変えるのはたいへんですね。ましてや仕事の進め方なんてなおさら……。私たちの仕事の新しい進め方についても見直していますが、こういう状況だからこそ、お客様のお役に立てるのが永和印刷という思いで今回の Prog を制作しました。ぜひご活用ください。(KK)

**Prog** 【エイワのブログ】  
Printing Professional Log by EIWA  
2020年7月31日発行 vol.37 2020 Summer  
**永和印刷株式会社**  
〒112-0005 東京都文京区水道 2-4-23  
TEL. 03-3813-5001 FAX. 03-3813-5005  
E-mail (営業部) mail@eiwa-p.com  
(DTP事業部) dtp@eiwa-p.com  
<http://www.eiwa-p.com>